

プリンセス・クルーズ  
2018年インターナショナルクルーズのパンフレットを発表



プリンセス・クルーズは2018年インターナショナルクルーズのパンフレットを発表しました。

プリンセス・クルーズの2018年インターナショナルクルーズパンフレットは、旅行会社店頭にて配布しています。またプリンセス・クルーズ日本語ホームページ（下記URL）から、ダウンロード（PDF）やデジタルパンフレットを閲覧できます。同ホームページより、パンフレットの送付を依頼することも可能です。

デジタルパンフレット：<https://www.princesscruises.jp/brochure-request-pdf/>

A4版、全76頁、オールカラーのパンフレットには、2018年4月から2019年5月までのインターナショナルクルーズのうち、日本のお客様に人気のコースやお勧めのコースとそのクルーズ代金が掲載されています。あわせてプリンセス・クルーズの誇る船内施設やサービス、バラエティ豊かなダイニング、新たに導入されるサービスやエンターテイメントプログラムなど充実したクルーズライフを写真とともに紹介しています。

掲載されているクルーズは、アラスカを始め、北欧、地中海、エーゲ海、英国などヨーロッパのほか、パナマ運河や南米、南太平洋・オセアニア、アジアなど世界360以上の寄港地をめぐる多彩なコースです。日本語ホームページでは、パンフレット掲載コース以外にもプリンセス・クルーズが運航する全てのインターナショナルクルーズを検索することができます。

プリンセス・クルーズでは、日本人のお客様が快適にご滞在いただけるよう、日本人に特に人気の高いクルーズに、日本語スタッフが乗船。日本語の船内新聞や船内ウェブサービスの日本語対応など、充実した日本語サービスを提供しています。このプログラムは、[ルビー・プリンセス](#)のアラスカクルーズ、[リーガル・プリンセス](#)のバルト海クルーズで導入されます。さらに17隻全ての船のメイン・ダイニングで、日本語メニュー\*をご用意し、充実の日本語サービスを提供します。  
\*新メニューの切り替え時期には、一部ご用意がない場合がございます。

プリンセス・クルーズが業界で初めて導入し、世界中から注目される最新のサービス「[オーシャン・メダリオン・クラス](#)」が2017年11月に[リーガル・プリンセス](#)より順次導入されます\*。メダル型デバイス「オーシャン・メダリオン」は、ID代わりとなり、客室に近づくとも自動的にドアが開錠、船内でのドリンク注文やお買い物もカードレスとなる他、身に付けていただくことで、個々のご希望に沿った、よりきめ細やかなサービスをご提供します。スマートフォンやタブレット、船内各所のモニターからデジタルコンシェルジュ「オーシャン・コンパス」を利用すると、各種予約やドリンクのオーダーなども可能です。

\*2017年時点では、対応言語は英語のみとなります。

プリンセス・クルーズの詳細については、日本語ホームページ (<http://www.princesscruises.jp/>)をご覧ください。

## 2018年インターナショナルクルーズのハイライト

### **アラスカ**

アラスカクルーズ乗船客数No.1を誇るプリンセス・クルーズでは、より深くアラスカクルーズを楽しむ船上プログラム「ノース・トゥ・アラスカ!」を提供。アラスカが作り出す絶景に触れながら、この地への造詣を深めることができます。

#### **アラスカの味覚を味わう：**

「アラスカシーフードマーケティング協会」と提携し、キングクラブやキングサーモンなどの新鮮なシーフードを使ったアラスカ料理をご提供。地元レストランとパートナーシップを組み、クラブケーキなどの地元の人気メニューも登場します。

#### **アラスカを知る：**

アラスカの暮らしと文化に触れる体験型のアクティビティです。スキヤグウェイ寄港日に、アラスカのストーリーテラー兼音楽家が、アラスカの物語を伝えるストーリーテリング・ショー「ノース・トゥ・アラスカ」を披露。また、アラスカ文化を支える犬ぞりの「そり犬」の子犬が船上に登場し、子犬たちと写真撮影ができる他、そり犬トレーナーとも会うことができます。犬ぞりレースで初の女性優勝者による講演も行われ、地元の人々からリアルなアラスカを学ぶことができます。

#### **アラスカを体験する：**

ゴールドラッシュの全盛期に思いを馳せ、当時の興奮を体験できるイベント。「クロンダイク・フェステバル」では、ダンスのパフォーマンスやハーモニカ講座、ナチュラルリストの講演などのイベントを実施します。砂金探しなど子供向けのアクティビティも提供します。

[ルビー・プリンセス](#)のシアトル発着インサイド・パッセージ8日間では、安心の日本語サービスをご提供します。

また、アラスカクルーズの前後には、アラスカの魅力をより満喫いただくランドツアーも用意しています。

プリンセス・クルーズ専用のロッジに滞在し、列車やバスから眺める壮大な風景、デナリ国立公園の観光、外輪船クルーズなど、アラスカをたっぷりとお楽しみいただけるランドツアーもあります。



# PRINCESS CRUISES

## ヨーロッパ

- ・[リーガル・プリンセス](#)のスカンジナビアとロシア12日間では、2017年に引き続き、日本語スタッフが乗船。人気のバルト海クルーズで安心の日本語サービスをご提供します。
- ・[クラウン・プリンセス](#)の地中海クルーズでは、バルセロナ、チビタベッキア（ローマ）を出発し、アドリア海やエーゲ海の魅力的な寄港地を訪れます。
- ・サウサンプトン発着の[ロイヤル・プリンセス](#)で巡る英国の島々13日間では、ガーンジ島やオークニー諸島、アイルランドとスコットランドの主要都市など、ベストシーズンのイギリスの見どころを一挙に巡ります。

## アジア・オセアニア

- ・2017年3月に就航した[マジェスティック・プリンセス](#)が、2018年9月～2019年3月にオーストラリア発着クルーズを運航します。シドニーを母港に、7日間～14日間の日程で、ニュージーランドやタスマニアを巡ります。
- ・シンガポール発着の[サファイア・プリンセス](#)は、12月からペナン島とプーケットをはじめ、東南アジアの人気寄港地を訪れます。

## 北米・南米

- ・大西洋と太平洋をつなぐ「水の階段」と言われるパナマ運河を通過するクルーズでは、ロック（閘門）通過時、水路すれすれに船が進んでいくシーンがハイライトの一つです。[カリビアン・プリンセス](#)は、2016年6月に開通した新閘門を通過、[ユーラル・プリンセス](#)と[アイランド・プリンセス](#)、[エメラルド・プリンセス](#)は旧閘門を通過するクルーズを運航し、合計4隻が配船されます。
  - ・プリンセス・クルーズが誇る最大級の客船、[リーガル・プリンセス](#)と[ロイヤル・プリンセス](#)が、ボストンやハリファックスをはじめ、紅葉で彩られたカナダ・ニューイングランドの美しい街並みを訪れます。
  - ・ロサンゼルス発着メキシカンリビエラ8日間では、美しいビーチで知られるバハカリフォルニアのカボ・サン・ルucas、高級リゾート地のマサトランやプエルト・バジャルタなど、それぞれ独自の雰囲気を持つリゾートを巡ります。寄港地では、ホエールウォッチングやイルカとスイミング、シュノーケリングなどのショアエクスカージョンが設定され、メキシコのビーチリゾートを満喫いただけます。[ルビー・プリンセス](#)、[スター・プリンセス](#)、[エメラルド・プリンセス](#)、[ロイヤル・プリンセス](#)の4隻で運航します。
- \*クルーズの日程は、変更になる場合があります。

## プリンセス・クルーズについて

世界最大の国際的なプレミアムクルーズラインであるプリンセス・クルーズは、現在 17隻の近代的な客船を運航する、世界的なクルーズ会社。革新的なデザインの客船で、食事やエンターテイメント、施設の豊富な選択肢を、上質なカスタマーサービスとともに提供。世界的なクルーズ会社のリーダーとして、年間200万人のゲストを世界の360以上の目的地に向けて、3泊から 111泊の日程でバラエティ豊かな150以上のクルーズを運航。

プリンセス・クルーズは、[カーニバル・コーポレーション& plc](#) (NYSE/LSE:CCL; NYSE:CUK)傘下の会社。

## プリンセス・クルーズの主な受賞歴

- 米国のトラベル関連のウェブサイト「USA トゥデイズ 10 ベスト.com」リーダーズ・チョイス・アワード 2016 においてベスト・オーシャンクルーズライン賞第1位、ベスト・クルーズシップ ダイニング部門にてロイヤル・プリンセスが第1位、ベスト・クルーズシップ エンターテイメント部門にてリーガル・プリンセスが第一位、ベスト・クルーズシップファミリー向け客船部門にクラウン・プリンセスが第2位、リーガル・プリンセスが第3位、ロイヤル・プリンセスが第6位を受賞
- 米国クルーズ誌大手「ポートフォール・クルーズ・マガジン」リーダーズ・チョイス・アワード 2016 にて、ベスト・中米コース、ベスト・南太平洋コース、ベスト・オンボード・ショッピング、ベスト・シグネチャー・カクテルを受賞
- 英国クルーズ誌大手「クルーズ・インターナショナル」主催「クルーズ・インターナショナル・アワード 2016」において、「ベスト・クルーズ・ライン賞」を三年連続で受賞



## PRINCESS CRUISES

- 米国トラベル誌最大手「トラベル・ウィークリー」の「トラベル・ウィークリー・リーダーズ・チョイス・アワード2015」にて「ベスト・クルーズ・ライン・イン・アラスカ」を2015年12月に受賞。（9年連続の受賞）。米国でのベストクルーズラインであることが評価され「ベスト・ドメスティック・クルーズ・ライン」を同時に受賞
- 米国のトラベル関連のウェブサイト「レコメンド」が主催する「リーダーズ・チョイス・アワード2015」にて、ベストクルーズライン クルーズコース部門賞を2014年に引き続き2015年12月に受賞
- 「2015 トラベル・ウィークリー・アジア・リーダーズ・チョイス・アワード」のサービス・エクセレンス・カテゴリーでベスト・クルーズ・ライン賞を、2015年10月に受賞

### 【国内での受賞】

- 日本の歴史あるクルーズ誌「クルーズ」の読者投票「クルーズシップ・オブ・ザ・イヤー」において2014年度、2015年度、2016年度と、プリンセス・クルーズが「外国船社部門第1位」、客船『ダイヤモンド・プリンセス』が「外国船部門第1位」、「総合部門第3位」を三年連続で受賞
- 神戸市におけるクルーズ振興に貢献した功績が評価され、神戸市より「Cruise Line of Excellence」を2016年11月に受賞
- 第3回「ジャパン・ツーリズム・アワード」で、海外領域 ビジネス部門で部門賞を、受賞
- 日本水先人会連合会が選ぶ「ベストクオリティーシップ2014」を、2015年6月に受賞 日本外航客船協会主催「クルーズ・オブ・ザ・イヤー2014」において、プリンセス・クルーズの日本発着クルーズが「グランプリ」受賞

株式会社 カーニバル・ジャパン  
(プリンセス・クルーズ ジャパンオフィス)

<http://www.princesscruises.jp/>